

部署紹介②

院内保育所

りんくう総合医療センターりんくう保育所

園長 楠本 留美

りんくう総合医療センターりんくう保育所は、平成23年10月4日に新しく開設された「院内保育所」です。保育士、看護師と合わせて12名の職員で保育運営をしております。

病院でお勤めされている方のお子様をお預かりする施設となり、生後57日から就学前までのお子様をお預かりすることが可能で、定員は25名、異年齢保育や大きく二つにクラス分けを行っているの保育となります。保育所ご利用枠は、「月極保育」と「一時保育」から選択でき、他の施設との併用をされている方も多くいらっしゃいます。感染症や体調不良時からの回復時にお預かりとなります。「病後児保育(平日に限りです)」「夜間保育(火、木)のお預かり、また、台風等の天候不良時の急なお預かりであります」「緊急一時保育」の受け付けも行っており、保護者様が無理なく、そして安心してお勤めいただける様な施設づくりを、日々、目指しております。

一年を通して様々な行事にも取り組んでおり、その中でも近隣園と合同で行っております「なかよし運動会」では、例年、総勢100名を超えるお子様たちが参加し、年齢に沿ったプログラムや保護者様との触れ合いの時間を笑顔で過ごしていただいております。保護者様



▲りんくう保育所

からも「是非、又参加をしたいです」等の嬉しいお声を頂くことも多く、一年の一大イベントとして取り組んでおります。

「ひとりひとりが個性豊かで、心身ともにたくましく、いつもやさしく思いやりのある子に」を保育目標に掲げ、「お子様たちが安心して過ごせる保育所作り」、そして「保護者様が安心してお仕事に専念できるような環境作り」へと繋いで行けるよう、今後も職員一同で取り組み、笑顔の絶えない保育所作りに努めていこうと思っております。

第203回 クリニカルレベルアップセミナー

クリニカルレベルアップセミナーは研修医などの医療従事者の研修に焦点をあて毎月開催しています。以前は「臨床集談会」という名称で開催しており、現在では開催回数は200回を超えております。

内容は、専門診療科の医師から臨床に関する講義を行ったり、超音波検査等の実技形式も含めたセミナーを開催したりしております。

203回目を迎える今回は、「医療現場におけるコミュニケーション」をテーマにし、講師として、認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長 山口育子様を招聘し、ご講演いただきました。COMLは、患者が自立・成熟し、主体的に医療参加



▲講師の山口育子理事長

することを目的し、患者と医療者が対立するのではなく、“協働”する医療の実現を願いとし、電話相談を日常の柱に、医療現場により良いコミュニケーションを築く活動をしています。(COMLホームページより抜粋・編集)

これまでの57,000件を超える電話相談の経験を踏まえて、さまざまな角度からご講演いただきました。45名もの医療従事者が参加し、熱心に講演に聴き入っております。今回のセミナーが日常の医療サービスの向上につながっていくことを切に願っております。

世話人：鳥野 隆博(りんくう総合医療センター 診療局長)



Level up